

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	解析学		
英文授業科目名	Analysis		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 システム工学科		
担当教官名	池田 和正		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
連絡教員：山田(T)	

<b>【主題および達成目標】</b>
無限級数（関数項級数を含む）の扱いと微分方程式の解法を主題とする．一変数の微分積分のうちで微分積分学第一で取り扱わなかった部分を補完する面もある．

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
微分積分学第一

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
線形代数学第一

<b>【教科書等】</b>
共通：三宅 敏恒 著『入門 微分積分』（培風館）[微分積分学の教科書] 必要に応じて各自で追加して下さい

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

数列と級数

- ・ 数列収束とその極限
- ・ 無限級数の収束と発散（正項級数，交代級数，絶対収束と条件収束）
- ・ 整級数の収束と発散，収束半径
- ・ \*関数列，関数項級数の一様収束
- ・ \*極限と微分積分との順序交換

微分方程式

- ・ 微分方程式の例（一般解と特殊解，積分定数，解の存在と一意性）
- ・ 1階の微分方程式の求積法（変数分離形，同次形，1階線形微分方程式，完全微分方程式など）
- ・ \*線形微分方程式の基本的性質（解空間，基本解，ロンスキアンなど）
- ・ 定数係数線形微分方程式の解法

(\* 印は講義では必ずしも取り上げない)

(b) 授業の進め方

授業は基本的に板書によって進められる。

(c) 授業時間外の学習について

講義中に講義内容のすべてを理解することは不可能であることを認識してほしい。講義の復習だけでなく，教科書の演習問題等を実際に解いてみる作業が求められる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価基準

無限級数の収束発散の判定，整級数の収束半径の計算，関数の整級数展開が，比較的単純な例に対して実行できる。また，変数分離形の微分方程式，2階の線形微分方程式の一般解が計算法が理解されていることを合格の基準とする。

評価方法

出席と中間・期末試験を同程度の重みで見るとする。レポート、追試等は行わない。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが，必要なら講義の前後に。

【学生へのメッセージ】

毎回行う予定の小テストの成績が重視されるので，出席しないと単位はないと思って下さい。なお，進学や卒業がかかっているから何とかして下さいという泣き言は聞く耳をもちません。また，合否の照合には応じません。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】
なし